

## 北野地域の公共交通について (みたかシティバス北野ルートの見直し方針)

### 1 概要

三鷹市交通ネットワーク全体構想及び交通総合計画 2027 を踏まえた北野ルートの見直しに向けて、利用状況等の詳細な調査を実施したほか、オープンハウス等により地域と意見交換を実施し、地域の移動ニーズの把握に努めた。これらの結果等を踏まえ、北野ルートの見直し方針を示し、今後の取り組み内容の方向性を定める。

### 2 取組内容及び結果

#### (1) バス利用状況調査

現状における利用状況を確認するため、乗降調査を実施した。

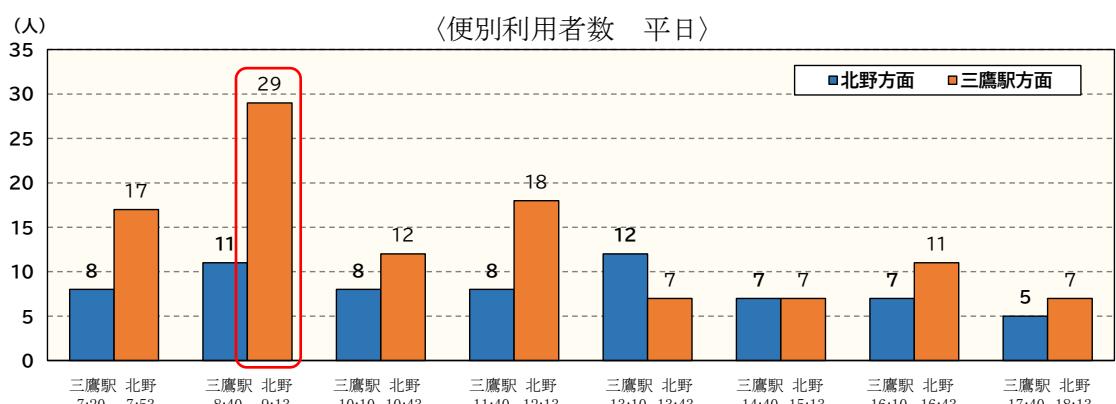
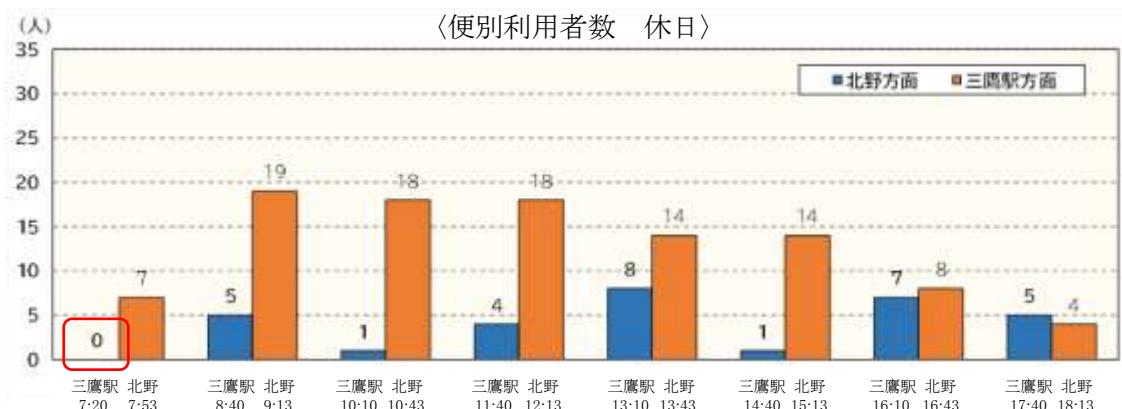
##### ア 実施概要

- ・日時 令和 7 年 6 月 15 日（日）利用者数合計：134 人（未就学児 1 人含む）  
16 日（月）利用者数合計：181 人（未就学児 7 人含む）
- ・内容 調査員がバスに乗車し、北野ルート全便（16 便/日）を対象に利用者数及び利用区間等の調査を実施した。

##### イ 実施結果

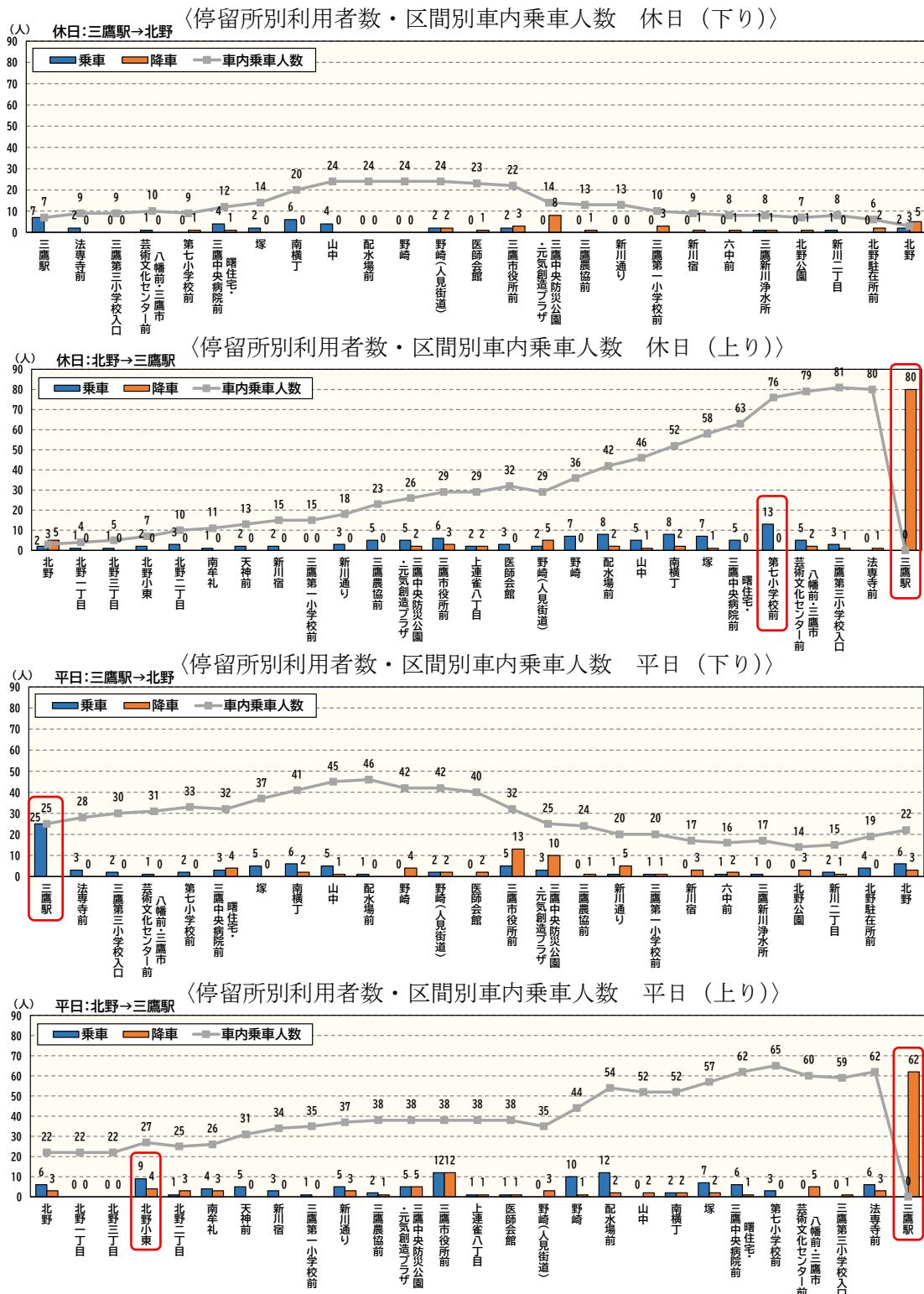
###### （ア）便別利用者数

利用が最も多かったのは、平日の北野 9:13 発三鷹駅方面で 29 人、最も少なかったのは、休日の三鷹駅 7:20 発北野方面で 0 人であった。三鷹駅方面の利用が多い傾向にあるが、全体的に利用は低調であった。



## (イ) 停留所別利用者数・区間別車内乗車人数

停留所別利用者数では、降車は三鷹駅が最も多く、乗車は三鷹駅及び第七小学校前から三鷹駅方面が多かった。北野地域では、北野小東から三鷹駅方面の9名が最大である。また、車内乗車人数は、北野地域付近は低調である。一方、野崎から三鷹駅の区間では多い傾向にあるが、これは同区間は三鷹駅方面への一般路線バスとの重複区間となっていることから、利用者が系統を問わず来たバスに乗車しているためと考えられる。



## (2) 地域ニーズの把握

(1)の実施結果等を踏まえ、今後の北野地域の公共交通のあり方に関するオープンハウスの実施による意見交換及び地域への情報提供等により、地域の移動に対するニーズの把握に取り組んだ。

### ア オープンハウス実施概要及び結果

- ・日時 令和7年8月29日(金)15:00～18:00  
30日(土)14:00～17:00
- ・会場 北野地区公会堂(webからの回答も可)
- ・内容 (1)の実施結果や他地域の交通に関するパネル展示を行い、スタッフがその場でヒアリング等を行い、会場に来られない方向けにwebから回答できるフォームを作成した。
- ・来場者数 合計19人(29日11人、30日8人)
- ・web回答数 合計31人

### イ 地域団体等への情報提供及び意見交換

オープンハウスの開催にあたり、広報みたかへの掲載のほか、東部地区住民協議会、北野町会等の各関係団体への情報提供や地域掲示板への掲出等により周知、広報に取り組んだ。また、コミュニティまつり等のイベントでもパネル展示を行うなど、丁寧なニーズ把握に努めた。

### ウ 地域からの主な意見

| 内容      | ニーズ                                | 意見数 | 主な意見  |
|---------|------------------------------------|-----|---|
| 運行本数や時間 | ・待たずに利用したい<br>・予定に合わせて利用したい        | 19  | ・本数が少ない<br>・時間が合わないため乗りたくても乗れない                                     |
| 行先やルート  | ・系統や時間に関係なく目的地に行きたい<br>・目的地に直接行きたい | 22  | ・杏林大学病院や市役所に行くのが不便<br>・利用したい鉄道駅に行くバスがない<br>・バスの乗り継ぎが不便              |
| その他     | ・安全・快適に移動したい<br>・家の近くから利用したい       | 10  | ・障がいがあるが優先席に座れない<br>・足が悪くてバス停まで歩くのが大変                               |
| 持続可能性   | ・公共交通を維持してほしい                      | 6   | ・今はあまり使わないが10～20年後に使うことになるので、廃止しないでほしい<br>・サービス水準を市内のほかの地域と同等にしてほしい |

## (3) バス運行事業者へのヒアリング

交通の持続可能性向上の観点から、バス事業者の現状調査としてヒアリングを行った。その結果、深刻な乗務員不足や法改正の影響等により運行本数の維持が難しい旨の回答があった。バス事業者は、三鷹市域だけではなく、他の地域も含め非常に厳しい状況に置かれていることが確認された。

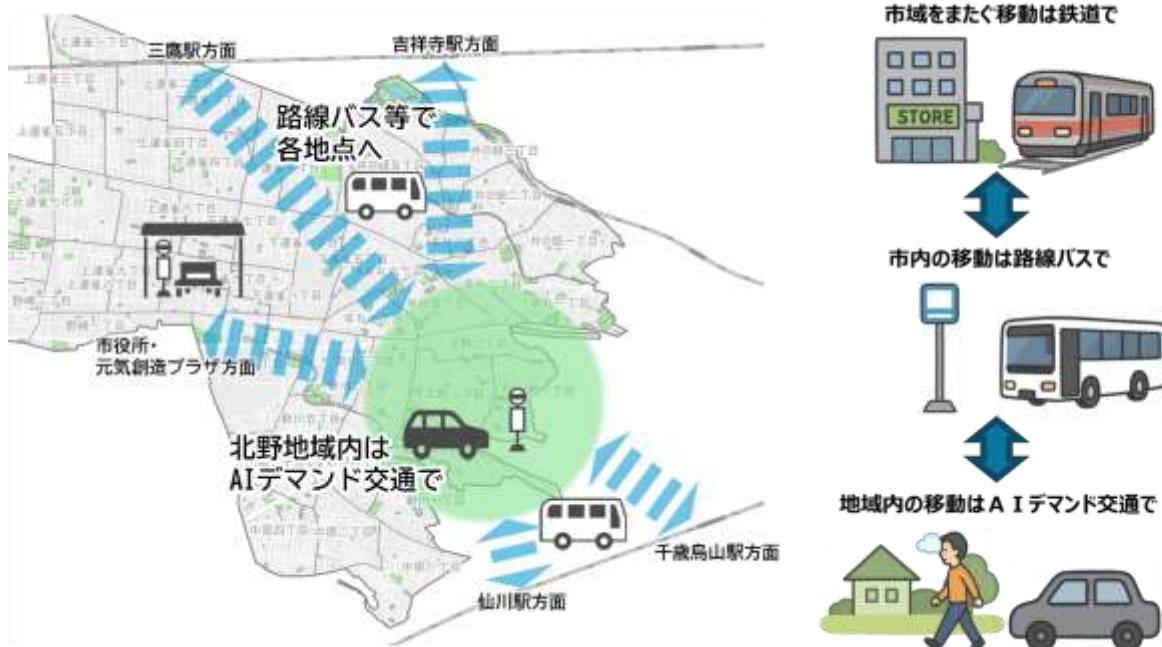
### 3 見直し方針と今後の取り組み

調査の結果、北野ルートの利用は低調であり、バスによる定時定路線型輸送の効果は限定的であることが確認された。また、地域との意見交換の結果、ニーズの多くは利便性向上や市役所や病院等へのアクセス性確保を求める声であったが、バス運行事業者の現状を踏まえると、バスによるサービス向上は難しい状況である。

これらの点を踏まえ、今後は、より柔軟性の高い運行が可能なA I デマンド交通の実証運行を行う方向で運行エリアや乗降ポイント等の検討を進めることとし、地域等との意見交換を継続的に行いながら、最適な交通手段の確立に向けて取り組んで行く。

なお、実証運行期間中、北野ルートは運行休止とする。

〈今後の北野地域の公共交通体系図〉



### 4 スケジュール（案）

|                |   |
|----------------|---|
| 令和 7 年 11 月下旬～ | 地域への報告等（住民協議会、町会等）                          |
| 12 月 24 日      | 地域公共交通活性化協議会報告                              |
| 令和 8 年 1 月～    | 運行内容の検討、地域との意見交換、各種調整                       |
| 3 月            | A I デマンド交通導入に向けた検討結果とりまとめ<br>地域公共交通活性化協議会報告 |
| 6 月            | A I デマンド交通実証運行内容確定                          |
| 10 月           | A I デマンド交通実証運行開始（北野ルート休止）                   |